

1. 広域道路ネットワーク計画

■ 広域道路ネットワーク

全国や県内各地との交流や連携を強化し、県内外とのスムーズな人・モノの流れを生み出すためには、広域道路ネットワークの充実・強化が必要です。

湾岸地域や県北西地域などの都市部、観光地における渋滞の改善、成田空港や千葉港をはじめとする拠点へのアクセス向上、平常時・災害時を問わない安定的な人・モノの流れの確保が喫緊の課題となっていることから、広域道路ネットワークを整備することにより、これらの課題を解決し、交通円滑化による生産性の向上や経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発現させることが重要です。

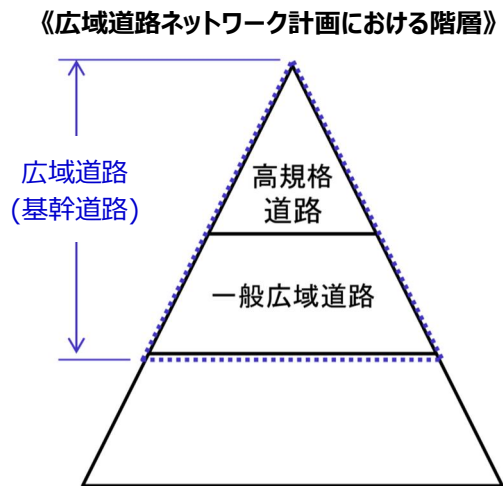
広域道路ネットワークは、「高規格道路」及び「一般広域道路」により構成されます。

① 高規格道路

人・モノの流れの円滑化や活性化によって、我が国の経済活動を支えるとともに、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡するなど、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはこれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成する道路。また、地域の実情や将来像（概ね 20～30 年後）に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路で、求められるサービス速度が概ね 60km/h 以上の道路。全線にわたって、交通量が多い主要道路との交差点の立体化や沿道の土地利用状況等を踏まえた沿道アクセスコントロール等により、求められるサービス速度の確保等を図ります。

② 一般広域道路

広域道路のうち、高規格道路以外の道路で、求められるサービス速度が概ね40km/h以上の道路。現道の特に課題の大きい区間において、部分的に改良等を行い、求められるサービス速度の確保等を図ります。

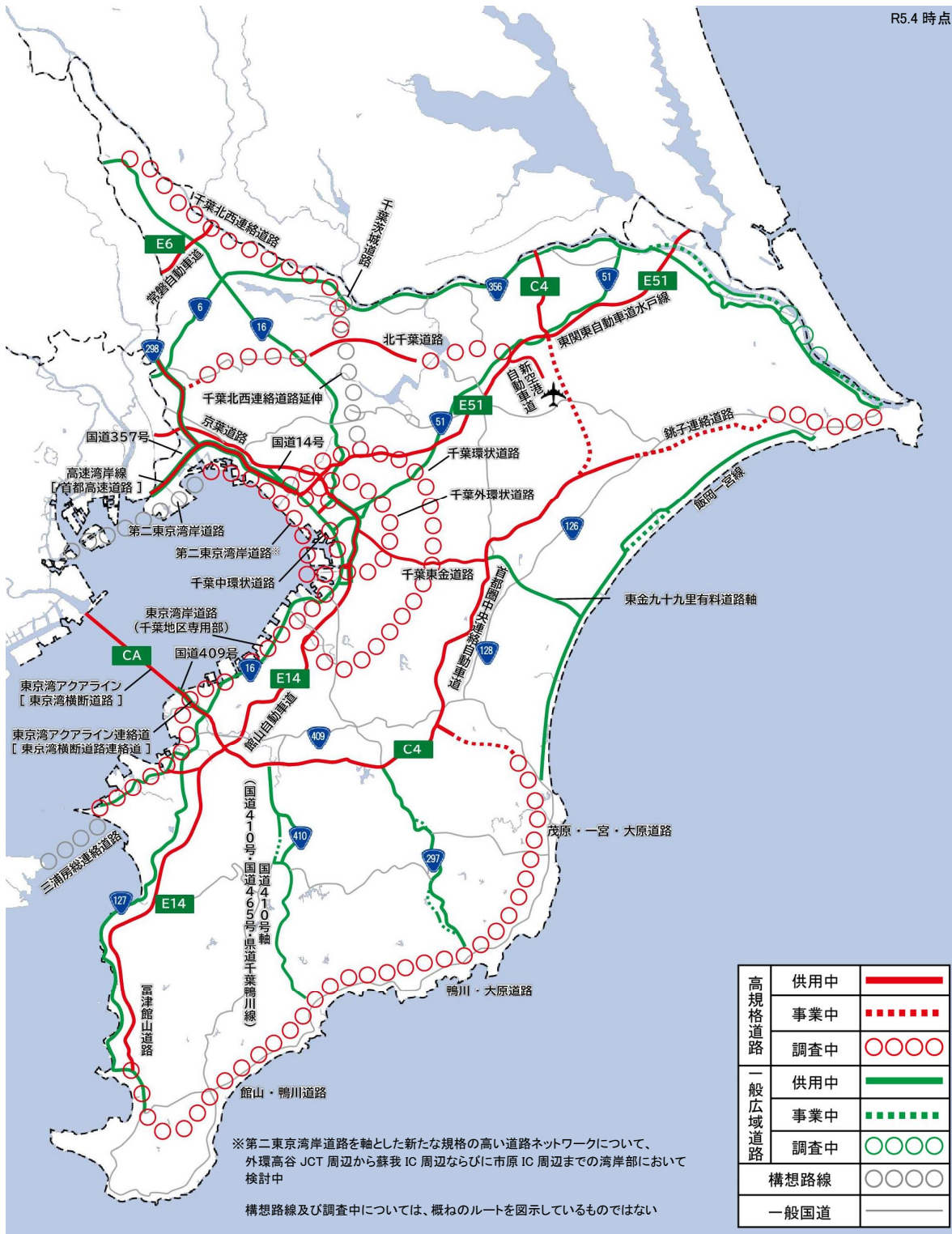


③ 構想路線

高規格道路としての役割が期待されるものの、起終点が決まっていない等の道路。

広域道路ネットワーク図

R5.4 時点



■ 広域道路ネットワーク 路線一覧

① 高規格道路

| 路線名 | |
|------------------------|------------------------------|
| 常磐自動車道 | 館山自動車道 |
| 東関東自動車道水戸線 | 新空港自動車道 |
| 首都圏中央連絡自動車道 | 京葉道路 |
| 富津館山道路 | 銚子連絡道路 |
| 茂原・一宮・大原道路 | 鴨川・大原道路 |
| 館山・鴨川道路 | 千葉中環状道路 |
| 高速湾岸線 [首都高速道路] | 千葉東金道路 |
| 東京湾アクアライン [東京湾横断道路] | 東京湾アクアライン連絡道 [東京湾横断道路連絡道] |
| 千葉外環状道路 | 第二東京湾岸道路* |
| 北千葉道路 | 東京湾岸道路（千葉地区専用部） |
| 千葉環状道路 | 千葉北西連絡道路 |

※第二東京湾岸道路を軸とした新たな規格の高い道路ネットワークについて、
外環高谷 JCT 周辺から蘇我 IC 周辺ならびに市原 IC 周辺までの湾岸部において検討中

② 一般広域道路

| 路線名 | |
|--------------------------|------------------------------|
| 一般国道 6 号（指定区間） | 一般国道 14 号（指定区間） |
| 一般国道 16 号（指定区間） | 一般国道 51 号（指定区間） |
| 一般国道 127 号（指定区間） | 一般国道 298 号（指定区間） |
| 一般国道 357 号（指定区間） | 一般国道 409 号（指定区間） |
| 一般国道 297 号（市原鶴舞 IC～勝浦市） | 一般国道 356 号（我孫子市～銚子市） |
| 一般国道 410 号軸（木更津東 IC～鴨川市） | 東金九十九里有料道路軸 （東金 IC～九十九里町） |
| 主要地方道飯岡一宮線（旭市～一宮町） | |

③ 構想路線

| 路線名 | |
|----------|------------|
| 三浦房総連絡道路 | 千葉茨城道路 |
| 第二東京湾岸道路 | 千葉北西連絡道路延伸 |

広域道路ネットワークの充実・強化

- 全国や県内各地との交流や連携の強化、平常時・災害時を問わない安定的な人・モノの流れの確保するため、圏央道（大栄～横芝）、北千葉道路、銚子連絡道路、茂原・一宮・大原道路、館山・鴨川道路、鴨川・大原道路等のミッシングリンクや圏央道及び富津館山道路の暫定 2 車線区間の解消を進めます。
- 圏央道の整備効果を県内各地に波及させるため、インターチェンジにアクセスする国道 297 号、国道 356 号、国道 410 号等の整備を進めます。
- 湾岸地域や県北西地域における慢性的な渋滞を解消し、地域の魅力を引き出すため、新たな湾岸道路（第二東京湾岸道路を軸とした新たな規格の高い道路ネットワーク）や核都市広域幹線道路の機能を兼ね備えた千葉北西連絡道路の早期具体化を図ります。

成田空港へのアクセス強化

- 圏央道（大栄～横芝）の令和 6 年度の開通に向けた整備や都心と成田空港を最短で結ぶ北千葉道路の整備を進めます。
- 県道成田小見川鹿島港線及び国道 296 号など空港周辺の国道・県道の整備を進めるとともに、圏央道と空港を直結する新たなインターチェンジについて、成田国際空港株式会社と連携しながら検討を進めます。

千葉港へのアクセス強化

- 新たな湾岸道路の早期具体化を図るとともに、国道 357 号の渋滞対策を進めます。

メンテナンスサイクルの着実な実施

- 千葉県道路メンテナンス会議において、各道路管理者間の情報交換及び連絡調整を行いながら、メンテナンスサイクル（点検→診断→措置→記録→点検→）を着実に実施し、道路施設の適正な維持管理を行います。

広域道路ネットワークの交通安全性の向上

- 高速道路の暫定2車線区間は、4車線区間と比べ死亡事故率が約2倍であり、富津館山道路等の暫定2車線区間について、4車線化や対向車線への進入を防止するワイヤロープの設置を進めるとともに、歩行者・自転車の誤進入対策や逆走対策等を促進し、安全性の向上を図ります。
- 広域道路ネットワークの整備により、一般道路に比べて事故率の低い高速道路への交通転換を進め、交通安全性の向上を図ります。



2. 交通・防災拠点計画

交通拠点計画

人口減少、少子高齢化など社会経済情勢が大きく変化していく中、日常生活や経済活動を支えていくためには、多様な交通モードが、より一層連携し、利用者が多様な交通を利用・選択しやすい環境を維持・向上していく必要があります。このため、地域における中心的な役割を担う交通拠点等について、モーダルコネクト（多様な交通モード間の接続）の強化を図ります。

施策 交通結節機能の強化

駅前広場の整備・再編

- 立体道路制度を活用した駅前広場の整備・再編による交通結節機能の強化を図ります。

交通拠点の機能強化

- 富津館山道路の富浦インターチェンジ周辺において、「バスタプロジェクト」として、集約型公共交通ターミナル（バスタ）に関する検討を進めます。
また、バスターミナルの整備や高速道路のバスストップの整備により、高速バスの利便性向上を図ります。

木更津金田バスターミナル（木更津市）



■ 防災拠点計画

災害発生時の経験や各市町村における地域防災計画も踏まえながら、道の駅や高速道路の休憩施設（サービスエリア（SA）及びパーキングエリア（PA））の整備や防災機能の強化を進めます。

災害の発生時においても、道の駅や高速道路の休憩施設の事業が継続できるよう、事業継続計画（BCP）の策定を促進するとともに、ソフト（災害情報の収集・発信等）・ハード（防災施設の整備等）の両面から防災機能の強化を進めるとともに、広域道路ネットワークの強靱化を進め、災害拠点病院や緊急輸送施設等の防災拠点との連携強化を図ります。

施策 道の駅における防災機能の強化

道の駅の防災機能の強化

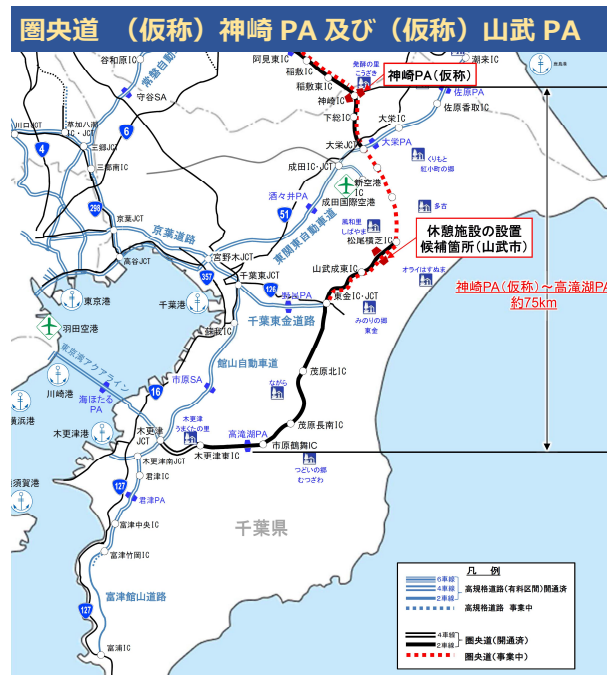
- 南房総市内 8 つの道の駅において、災害時の BCP を策定し、各駅間で非常時に相互補完できる体制の整備を進めます。
- 首都直下地震や大規模水災害等により、甚大な被害を受けた際に住民等が一時的に避難できるよう備蓄倉庫や非常用電源設備の設置、非常時にトイレの使用が可能になるように給水タンク・仮設トイレなどの整備を進めます。
- 災害時には、道路啓開・復旧時の資材置き場、活動拠点として活用するとともに、各交通機関の被災状況などの災害情報を提供します。



施策 高速道路のSA・PAの整備

圏央道の新たなパーキングエリア（PA）の整備

- 高速道路において災害時の情報収集・発信の拠点となるSA・PAについて、圏央道の（仮称）神崎PAの整備や（仮称）山武PAの計画の具体化に向けた取組を進めます。



施策 防災拠点へのアクセス強化

広域道路ネットワークの強靱化による防災拠点との連携強化

- ミッシングリンクや暫定2車線区間の解消により広域道路ネットワークの強靱化を進め、多重性や代替性の確保を図り、災害拠点病院や緊急輸送施設等の防災拠点との連携を強化します。

3. ICT交通マネジメント計画

都市部や観光地における渋滞等の交通課題の解決に向け、近年整備が進んだ広域道路ネットワークを更に効率的・効果的に賢く使うため、ETC2.0やAIのビッグデータを活用し、道路交通の速度や利用経路等を把握し、渋滞対策や交通安全対策等への利活用を進めます。

また、高齢者等の生活の足の確保や物流の効率化に寄与する自動運転サービスの普及促進のため、全国で行われている実証実験の状況を勘案しながら、本県における自動運転の社会実装に向けて、自動運転サービスの導入に適した地域の検討など、本県におけるICT技術を活用した施策について取組を進めます。

施策 ビッグデータの利活用の強化

交通渋滞・交通安全対策へのビッグデータの活用

- 都市における交通渋滞対策や交通安全対策について、ETC2.0などによる速度や利用経路、急ブレーキのデータなど、多種多様できめ細かいビッグデータを活用します。

施策 自動運転サービスの普及

自動運転サービスの普及

- 高齢者等の生活の足の確保や物流の効率化に寄与する自動運転サービスの普及促進のため、サービスの導入に適した地域の検討など、実用化に向けた取組を進めます。